

普仙寺だより

<<

>>

第163号 平成21年1月



総代会役員、華頂婦人会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました
平成20年12月21日撮影

丑年はいつから

平成21年は、干支では己丑(つちのと・うし)に当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせる年を数えます。

十干は

甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)・戊(つちのえ)・己(つちのと)
・庚(かのえ)・辛(かのと)・壬(みずのえ)・癸(みずのと)

十二支は

子(ね)・丑(うし)・寅(とら)・卯(う)・辰(たつ)・巳(み)・午(うま)・未(ひつじ)
・申(さる)・酉(とり)・戌(いぬ)・亥(い)

といえます。

中国暦における年の数え方ですから、中国暦の新年から丑年(うしどし)になるわけです。

そのため旧正月の日、つまり西暦2009年1月26日から丑年です。

年末大掃除

平成20年12月21日に、華頂婦人会の役員の方と、総代会の方に、年末の大掃除をして頂きました。境内や墓地をきれいにして頂きました。



平成20年12月21日
総代会役員、華頂婦人会役員の皆さんに年末の大掃除をして頂きました

800年前の法然上人

今から800年前、承元3年(西暦1209年)の1月、法然上人の周辺ではどのような事があったのでしょうか。
法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、2年前の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。
同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に留まることとなりました。
800年前の今月をもって、法然上人は、勝尾寺に居られること1年1ヶ月になりました。

第4回 浄土宗豊橋組 檀信徒の集い … 総本山知恩院 おてつき運動推進

日時

平成21年2月12日(木)

開場 午後2時

開会 午後2時30分

終了 午後4時30分

内容

第一部 式典

法然上人800年大遠忌

おまちうけ法要

おてつき運動推進大会

第二部 法話

神奈川教区小田原組

春光院石川邦雄上人

会場

豊橋駅前文化ホール **入場無料**

豊橋市駅前大通り2丁目33-1

駅前大通開発ビル10階(エレベーター有り)

※入場整理券を受付に御呈示下さい。



主催

浄土宗三河教区豊橋組

寺行事案内

土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

1月10日からは

- 後編第17章 百萬遍
- 後編第18章 深心因果
- 後編第19章 孝養父母
- 後編第20章 行者存念

住職説教 (じゅうしよくせつきょう)

平成21年1月25日(日) 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年(1212)の正月25日の正午、大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂の場所)にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

寒念仏 (かんねんぶつ)

平成21年1月31日(土) 午前7時30分～8時

暦でいう寒中の間のお参りを、寒参り、寒詣で、寒行といえます。
浄土宗では特に寒念仏と呼んで、お参りします。ぜんざいの御接待をします。

※寒中(本年は1月5日から2月3日まで)

善光寺如来縁日 (ぜんこうじによらいえんにち)

平成21年2月8日(日) 午後6時30分より

本堂左脇壇にて善光寺の御詠歌をお唱えします。

月並法要 (つきなみほうよう)

平成21年2月8日(日) 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

御忌法要 (ぎよきほうよう)

平成21年2月21日(土) 午前11時～午後3時

◇法要

◇法話 岡崎市 大聖寺 山田學應師

◇詠唱奉納

法然上人の忌日法要を御忌(ぎよき)と呼びます。

普仙寺ではこの地方の習慣に倣い、月遅れでお勤めします。